

令和 7 年（2025 年）2 月 27 日
都市基盤部交通政策課

豊中市公共交通改善計画（案）に関する意見公募手続の結果について

令和 6 年（2024 年）11 月 20 日～12 月 10 日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

（1）集計結果

①提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
1	郵便	0	0
2	ファクシミリ	0	0
3	電子メール	1	2
4	電子申込システム	3	13
5	所管課への直接提出	19	19
6	その他	0	0
	合計	23	34

（上記以外に、政策等の案の内容とは直接関係のないもの 6 人 7 件の意見がありました。）

②市民等の区分別人数

	市民等	提出人数（人）	意見件数（件）
ア	市の区域内に住所を有する者	22	32
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等	1	2
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者	0	0
エ	市の区域内に存する学校に在学する者	0	0
オ	市税の納税義務者	0	0
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの	0	0
	その他（市民等の区分が未記入のもの）	0	0
	合計	23	34

（上記以外に、政策等の案の内容とは直接関係の無いもの 6 人 7 件の意見がありました。）

(2) 提出意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
1	63 ページ 交通空白地 の定義につ いて	高齢化が進展すると、公共交通機関はより重要性を増す ということ。 高齢者の「移動の権利」を、行政は保障 する責任があるということ。 「半径 500m」「半径 1km」以遠を交通空白地と定義 されているようですが、それはいかにも若い人の発想に 思えます。半径をこの 1/5 にしてもいいように思いま す。 「そんなアホな」と思われるかもしれませんが、 高齢者からすると、半径 1km など、それこそ「そんな アホな」です。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及 びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人 口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位 を付けた上で施策を実施してまいります。
2	63 ページ 交通空白地 の定義につ いて	豊中市は交通空白地の基準として鉄道の駅まで 1000m またはバス停まで 500m としているようで、空白地は解 消したとの認識ですね。しかし、これはあくまでも地図 上の二次元的な把握に過ぎません。運行頻度や運行して いる時間帯などのサービス水準については考慮されてい ません。地図上では「空白」とはなっていないように見 えても、ダイヤなどを見ると公共交通を利用することが 困難である「時間空白」地域が増えていることも踏まえ なければいけません。空白地は無くなったと自画自賛せ ず基準の見直しをお願いしたい。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及 びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人 口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位 を付けた上で施策を実施してまいります。交通支援検討地 域において優先的に施策の検討を行います。運行ダイヤ の縮小により路線バスの利用が実質困難となるエリアに ついては、乗合タクシーの乗入れ等サービス水準の確保を 検討します。
3	63 ページ 交通空白地 の定義につ いて	わが地域（北西部一中環以北、ロマンチック街道以西） は、先の地域の声にも記した通り、急坂で狭く、曲がり くねっている道がほとんどです。 いくら小型といえど、バスは走れないようなところが非 常に多く、それこそ広大な公共交通空白地といえると思 います。 そんなこの地域に適した公共交通機関として推奨したい のは、千里地域で導入されている（と広報で知りました） スロー・モビリティです。 鉄道やメインとなるバス路	千里中央地区において運行しているグリーンスローモビ リティ「モビとよ」は、地域住民主体で行っていただい ている移動手段です。 今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及 びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人 口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位 を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システ ムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換 会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行います。

		線と、地域に細かく広がるスロー・モビリティ路線。 真剣に導入を検討願いたく思っています。	
4	72 ページ 豊中市乗合 タクシーに ついて	乗合タクシーミナノッテの認知度がどうなのか。利用度 がどれくらいで、改善の可能性はどの程度あるのか知り たい。ボトルネックはなにか。マチカネポイントは使える のか。乗車は停留所であっても、下車は目的地近くと できないか。 また、現状を知りませんがタクシーも恒常的に配車まで 30 分を実現して欲しい。タクシーもいまや公共交通です よね。	豊中市乗合タクシー「MinaNotte」の各地域での令和 5 年 度(2023 年度)の認知率及び利用状況は下記のとおりです。 ・西部地域路線 認知率：90.1%、利用状況：17.3 人/日 ・南部地域路線 認知率：56.1%、利用状況：4.8 人/日 また、年に 1 回程度意見交換会により、地域住民のニーズ を把握し、おおそ 2 年に 1 回程度運行内容の改善（停留 所の増設やダイヤ改正等）を行い、利用率の向上に努めて います。 支払方法は現金もしくは回数券のみとなっております。 豊中市乗合タクシーは路線バスと同様、停留所で乗降する 運用としています。また、タクシーについてはスマートフ ォン等の配車アプリで簡単に呼ぶことができます。配車ア プリの使い方に関しては、タクシー事業者等と連携して、 周知に努めてまいります。
5	77 ページ シェアサイ クル事業に ついて	シェアサイクルのポートもバス停と同じ程度離れた場所 にしかないので少し利用しづらさを感じます。アプリ内 もしくは市からの募集などで設置してほしい場所、地域 を調査してみると既存の利用者の利便性向上、新規の利 用者の獲得にもつながると考えます。	シェアサイクルのポートにつきましては、ポート用地とし て一定面積が確保でき、安全上問題のない場所へポートを 設置しております。市内にはポートが少ない地域もあるこ とから、ポート設置の募集については検討してまいりま す。
6	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	我が家は鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外で勾配が ない地域に位置しています。豊中病院線の廃止で新たに その地域になったのでより不便感が強く感じられます。 このことから p102 にあるようなオンデマンド交通等の サービスを早急に導入してもらえるとありがたいと感じ ます。 駅に向かおうと思うと阪急宝塚線、北大阪急行ともに坂 を上った場所に駅があるため高齢者にとっては少しし んどいと思います。大阪メトロのオンデマンドバスがサ ービスの参考になるのではないかと考えます。	本市では、駅やバス停から一定の距離がある西部や南部地 区で予約式の乗合タクシーを運行しており、現在では地域 で便利にご利用いただいております。 今回の計画の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄 道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾 配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優 先順位を付けた上で、乗合タクシーをはじめとした交通支 援施策を実施してまいります。

7	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	阪大の北側の待兼山町に住んでいる住民は日常の買い物は箕面市の 171 号沿いにあるオアシスカ石橋の商店街が主である。 どちらも勾配がきつく行きはヨイヨイだが、帰りは荷物も持ってなので大変である。私自身は、今の所、車に乗っているが、あと 2 年で車もやめる予定をしている。 近所の方もコープ等での宅配サービスを利用されている方が多いが、やはり日常的に自分の目で見て買いたいものも多々あるのは当然である。勾配のきつい坂をつえについて、また、手押し車を引いて何度も休憩しながら（イスなどないが）登ってくる姿を見かけます。 また、病院などに行きたいときも（市民病院は近くにあるが）電話ではなかなかタクシー予約が出来ずに困っておられます。 市民病院と柴原体育館の前の道はとても広くてバスも十分通れます。あの道から 171 号へ、池田市へ、箕面市へまたロマンチック街道へと走るバスがあれば自分で見て買える物も増えて、楽しくなると思う。 また、箕面のゆずるバスのような小型のバスが走るようになっていろいろな便利になると思う。 バス停でまたはバスの中で、いろんな人と出会いつながりもより深まると思う。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握したうえで、移動需要に応じた検討を行いますので、ぜひご意見をお寄せください。 また、タクシーについてはスマートフォン等の配車アプリで呼ぶことができます。配車アプリの利用に関しては、タクシー事業者等と連携して周知に努めてまいります。
8	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	モノレール駅から半町を通して石橋阪大前、箕面駅までバスを走らせて頂きたいです。 高齢者の多い待兼山、車の運転も不安になりながらも手放せない状態、これからもっと高齢になれば待兼山は坂が多くて足腰が弱い、買い物、銀行等行けなくなると思うと不安です。 バス停は高齢者が多い待兼山の配水場あたりに停留所があればうれしいです。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますのでぜひご意見をお寄せください。

9	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	通院買い物の足がほしい 現状では通院等自宅からバス停まで約 20 分間徒歩で行きバスに乗っています。 昨今の異常な暑さ、冬の寒さ等持病があるため徒歩が厳しくなっています。 自宅近くにも小型バス等がまわっていただけると大変助かります。買い物も手にさげて帰宅しますが体調がおもわしくない時にはつらく感じます。タクシーもタイミングがあわないときにきていただけません。 (待兼山町にお住まいの方)	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握したうえで、移動需要に応じた検討を行いますので、ぜひご意見をお寄せください。 また、タクシーについてはスマートフォン等の配車アプリで呼ぶことができます。配車アプリの利用に関しては、タクシー事業者等と連携して周知に努めてまいります。
1 0	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	バスも電車も遠い不便な所に住んでいます。住んで 50 年ですが高齢になりどこにも出られなくなりました。 巡回バスでもあれば豊中にもいけますがなかなか出られません。 タクシーを使って外出するので巡回バスもないのならタクシー券でもあったらうれしいなと思っています。 豊中の中心部のみ発展して見捨てられた地に住んでいる高齢者も多くいる事、どうぞよろしくお願いします。 (待兼山町にお住まいの方)	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行います。タクシー券の配布については、現在のところ、実施する予定はありません。
1 1	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	今は元気でいますが、あと何年かしたら足が弱くなり歩いてあちこち行けなくなると思います。 豊中市民病院から箕面に向けて走るバスがあったらと思います。 高齢者が気軽に外出できるようなバスがあれば買い物、お出かけ、通院、公共施設を利用、市役所など生活に欠かせない場所に簡単にアクセス 誰もが気軽に乗れるコミュニティバス 豊中にもコミュニティバス くらしが変わることを願っています。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますのでぜひご意見をお寄せください。

1 2	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	この地区では高齢者や障害者の足の確保は、タクシーしかありません。急に具合が悪くなった時、タクシーを呼んでもなかなか来てくれず困り果てます。 高齢者や障害者には優先して配車してもらえるようなことは出来ないのでしょうか。個人では交渉できませんので市へお願いします。 (待兼山町にお住まいの方)	タクシー事業者を確認すると、「供給不足により、ご迷惑をおかけしていることは十分に認識しており、大変申し訳ございません。タクシーの優先配車につきましては、公平な観点から難しい状況です。」との回答でした。 交通支援検討地域については、「鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域」において、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。 また、スマートフォン等の配車アプリでは、近くのタクシーを簡単に呼ぶことができますので利用をご検討ください。配車アプリの利用に関しては、タクシー事業者等と連携して、利用方法の周知に努めてまいります。
1 3	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	自分が若くて元気な時は別に不便は感じませんでした。昨年、大病をしてからあまり外へ出なくなり、出ようとしても病院へ通院しようとしても、タクシーを呼んだり、別の方に車を頼んだりで大変です。 今は少し元気になり、お買い物に行こうとしても坂が多く、余り気が進みません。 友達とも全く会わなくなり、また家の中に引き込んでいます。少し交通の便利が良くなったら気持ちが前向きになるかも (待兼山町にお住まいの方)	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますのでぜひご意見をお寄せください。
1 4	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	私は 75 歳で 10 年前に肘の手術をしました、 今住んでいる所は、モノレールにのるにしても石橋、桜井駅にしても坂が多くて、右足肘に器具が入っているのでものすごくしんどいです。時間てきには歩く時間 20 分位です。 しんどい時は阪急オアシス箕面店の前から石橋行の阪急バスが出ているので用事がある時は利用しています。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますので是非ご意見をお寄せください。

1 5	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	豊中の北部に住居が有り障害者には坂道も多く、高齢で足の不自由な私には大変で買物も池田市の石橋商店街、箕面市半町とか豊中市立病院に行く時などタクシーを使用しています。 市柴原水道局当りにバスが来てくれたらうれしいです。 お願いします。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますのでぜひご意見をお寄せください。
1 6	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	待兼山町居住者の利用公共交通は阪急石橋阪大前駅、阪急バス停半町、モノレール柴原駅です。 いずれを利用するにしても四方急坂で高齢者が多く不便を感じております。 その上道路半分が箕面市でタクシーは阪急タクシーでなかなか来てもらえない状態です。 今回豊中市乗合タクシーがあるのを知りました。柴原浄水場付近に新設検討していただければと思います。 市民病院通院者も多いのでバス停も柴原浄水場付近まで延長を希望します。	タクシー事業者を確認すると、「供給不足により、ご迷惑をおかけしていることは十分に認識しており、大変申し訳ございません。」との回答でした。 今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますので是非ご意見をお寄せください。
1 7	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	高齢になると買物、通院等が大変な負担になります。まして、交通がいきとどいていない地域にいと外出することがおっくうになり人と接する機会も少なくなります。 元気な高齢者であるためにも地域住民の移動手段を確保する、それが地域活性化にも寄与することになると思います。 自家用車を持たない高齢者の移動を支援していただけたら助かります。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますので是非ご意見をお寄せください。

1 8	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	私は 79 歳ですが、車をまだ運転しています。 だから、今のところは不便を感じていませんが、もうすぐ免許証を返上するつもりです。 そうすると移動が不便です。箕面市のようにコミュニティバスを運行して頂きたい。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますので是非ご意見をお寄せください。
1 9	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	待兼山町は、豊中市の端で、箕面とか池田に近い坂の町です。高齢者になると買い物とかも不便で重い物とか自転車です。買い物しますが、坂道の途中で車が通ると怖くて止まってしまいます。いったん止まると坂道なのでそれからは押して登らなければならず、すごく大変です。町の中を巡回してくれるタクシーとか、週に何回かでもいいですが、あると助かります。それも余り高くない程度の金額で。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムや運賃については、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますので是非ご意見をお寄せください。
2 0	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	今は買い物や通院などは自転車を利用していますが自転車で行動できるのもあとわずかだと思っています。 年々事故にあう不安が増しています。 市立豊中病院から半町の交差点から阪大下を通り蛍池駅前から豊中駅への循環バスがあればどんなに便利かと思っています。ご検討よろしくお願い致します。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますので是非ご意見をお寄せください。
2 1	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	私は阪大の近くに住んでおります。 今は元気で自転車で移動しておりますが、健康には不安もあります。自転車に乗れなくなった時、病気になった時を思うと、病院はどこも中途半端な距離で。 買い物に行くのも坂道が多くて。 毎回タクシーを使うわけにいかねいし、とても困ると思います。 箕面のゆずるバスのような小型のバスが走るようになるといいのにと思います。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますので是非ご意見をお寄せください。

2 2	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	夫と二人暮らし 夫はリハビリも兼ねて、毎夕方つえを持って散歩するの でそれにつきそっている。 買い物は私が歩いて阪急オアシス箕面店まで行っている が坂がきつくて特に帰りはのぼりでおまけに荷物もあり 大変。 今はまだ歩いて行っているがこれから先が心配。 箕面市のゆずるバスのような小さなバスでも走らせて欲 しい。また、市立豊中病院前の大きな道をバスが通って くれたらすごく便利になると思う。	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及 びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人 口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位 を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システ ムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換 会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますの で是非ご意見をお寄せください。
2 3	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	タクシーも来てくれない様です。 近くにバスが通りバス停があることを望みます。 （待兼山町にお住まいの方）	タクシーについてはスマートフォン等の配車アプリで呼 ぶことができます。配車アプリの利用に関しては、タクシ ー事業者等と連携して周知に努めてまいります。 今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及 びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人 口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位 を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システ ムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換 会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますの で是非ご意見をお寄せください。
2 4	82 ページ 新たな交通 支援の検討 について	豊中市大黒町 11 年間住んでおりました。家の売却を済ま せお世話になった方に家を下見に行き案内方が小中学校 病院も近くにあります。今の信号の所にバス停が出来ま す。買い物石橋坂道が多く不便でした 51 年前のお話で す。今に至る （待兼山町にお住まいの方）	今回の見直しにより、新たに交通支援検討地域（鉄道駅及 びバス停から半径 300m 圏外の地域）を定義し、勾配や人 口密度、高齢化率、子育て世帯の居住状況等から優先順位 を付けた上で施策を実施してまいります。公共交通システ ムについては、地域住民のニーズをアンケートや意見交換 会などにより把握し、移動需要に応じた検討を行いますの で是非ご意見をお寄せください。

2 5	90 ページ 豊中市における公共交通の将来イメージについて	神崎川駅が豊中市側へ移設されると聞いたが、数年先か数十年先に実現を見込むのであれば計画の地図に反映して然るべきではないか。阪急神戸本線は線路は豊中市を通過して踏切では人身事故を起こしているが、駅は無く豊中市民は恩恵を受けていません。	神崎川駅周辺整備基本計画は駅周辺に求められる施設配置などの整備方針を示すものであり、今後の関係機関との協議等を経て事業化されるものであるため、本計画においては市域に隣接する鉄道駅として記載しております。
2 6	106 ページ モビリティ・マネジメントの推進について	交通すごろくの例として川西市の写真を掲載しているが、豊中市内でもゼロカーボンシティ推進課が小学校でのクルマ大集合で交通すごろく等を実施しているのではないか。単に計画における写真の差し替えだけでなく、相乗効果が得られるように庁内連携による推進をしていただきたい。	第3章「問題点と課題」第1節「計画に基づく取組み状況と評価」78 ページにおいて、市内の小学校で実施した環境学習「クルマ大集合」の取組みについて記載するとともに、106 ページの事例紹介を修正しました。 今後は、ゼロカーボンシティ推進課で実施している環境学習の取組みについて情報共有を行い、公共交通の利用促進とともに環境への取組みの推進を行ってまいります。
2 7	110 ページ 環境にやさしい車両の導入について	文章中では「公共交通の車両からも温室効果ガスの排出削減を進めます」、タイトルでは「環境負荷低減を図り誰もが利用しやすい車両の導入支援【新規】」となっている一方で、内容の説明では「導入する際の支援制度等を検討します」となっており、あくまで「検討」するだけに留まっており、タイトルと説明の整合性が取れていない。積極的に推進するのであれば、「～導入する際の支援制度等を実施していきます」などとすべきではないか	「令和 32 年（2050 年）のカーボンニュートラル達成に向け、エコカー・ゼロエミッション車両の導入による公共交通の脱化石燃料化（交通GX（グリーン・トランスフォーメーション））の実現を見据えた方策や導入促進に取り組めます。」に修正しました。
2 8		日ごろ地域の住民の間で交わされるのは・・・ ・市立豊中病院に行くのに、公共交通機関がない。 タクシーでしか行けない。 タクシーはなかなか予約できない。 タクシーが予約できなければ、豊中病院の診察の予約ができない ・坂がきつくてスーパーで買い物をした後、自宅まで戻るのに 2 回くらい休憩が必要 ・バス停まで行くのが大変。狭く、坂がきつく、曲がりくねっている。この地域には、そんな道しかないから、狭い曲がりくねった急坂に車がひしめき、危なくて、高齢者や小さな子連れは、安心して歩けない	路線の利用状況や運転士不足等の問題により路線バスの廃止や収縮が行われているのが現状です。 今回の見直しにより、交通支援検討地域（鉄道駅及びバス停から半径 300m 圏外の地域）の解消、持続可能で適正な規模の交通システムを検討してまいりますので引き続きご意見をお寄せください。

		・今まであったバス路線（箕面方面など）が無くなって、ものすごい不便 ーなど、非常に具体的で切実な声です。 今後、公共交通の課題を解決するうえで、ぜひとも押さえていただきたいのは公共交通というのは、社会的インフラであるということ。 電気や水道と同じで、儲かるか儲からないかで廃止してはいけないと思います	
29		隣接市の交通機関、例えば大阪市バスや尼崎市バスの豊中市への乗入れは出来ないのか。問題点はなにか。豊中市で市バスの運営維持ができなくても、一部費用負担する形で交通網を拡大できないか。	各市で運営されている市営バス（大阪市は大阪シティバス株式会社、尼崎市は阪神バス株式会社へ事業譲渡）が本市へ乗入れすることについては、各事業者との協議が調えば実施することは可能です。 豊中市においては阪急バスによりバス路線網が形成されており、阪急バスは近隣市と接続する路線を運行しております。 本市においては、市の東西軸を強化するために伊丹市へ乗入れしている阪急バス豊中東西線において運行補助を実施しております。
30		白タクは禁止だが究極のライドシェアは利便性、安全度が良く、皆が幸せになる。それはご近所さんが自分の車にご近所さんを乗せて目的地まで送り届けること。ご近所さんを乗せると普通はお金を取りにくいですが、システム化したらそれは無くなる。知り合いなので犯罪の危険度は限りなく低いと思う。	ご提案いただいている、運賃としてお金のやり取りを行う、いわゆる有償で行うライドシェアを実施する場合は、現在の法律では道路運送法の許可又は登録が必要になります。 自発的な謝礼やガソリン代等実費のやり取りであれば、許可や登録は必要ありません。
31		乗合バスはバス停にほぼ止まる。乗用車は途中停車は比較的少ない。商用車、特に宅配便車両は不定期に不特定の場所に停車することが多い。以上を前提に道路に駐停車エリアを設け、交通渋滞緩和を図る。	道路空間に限りがあることから、駐停車エリアを設けることが難しいのが現状です。駐停車による渋滞対策として大阪府警察により、駐停車違反取締重点路線が指定される等、恒常的に交通渋滞が発生している場所において、取締り強化が進められています。

3 2		道路に自転車専用帯※を設けているけれども、非常に狭い道路の場合は車と自転車が並行しては走れません。その場合は最高速度は自転車に合わせざるを得ません。何処にでも自転車専用帯※を設けないでいただきたい。※青色で着色したり矢印、自転車マークの表示がある道路のことです。	近年、全国的に歩道を暴走する自転車による歩行者との事故が多発しております。 本市においても国のガイドライン等に基づき、「豊中市自転車ネットワーク計画」を策定し、優先順位をつけて自転車通行空間の必要な道路について整備を進めています。
3 3		様々な交通改善計画に関わる事柄をもっと sns で発信してください。資料をまとめ切ってから意見公募も良いですが、常日頃からの周知アナウンスが大事だと思います。交通改善計画の説明動画を流しても良いし、シェアサイクル、ミナノッテの使用方法を説明しても良いですね。	豊中市乗合タクシー「MinaNotte」については、アンケート調査や意見交換会の実施等により周知に努めています。が、シェアサイクル含め、より広く周知を行うためにソーシャルメディアの活用を検討します。
3 4		バス、電車で使える 1 年 3,000 円位の乗車券 75 歳からあったらいいと思います	阪急バスでは、65 歳以上の方が阪急バス全線で乗り放題の阪急グランドバスを販売しています。市においては、現在のところ、乗車券等の配布については実施する予定はありません。

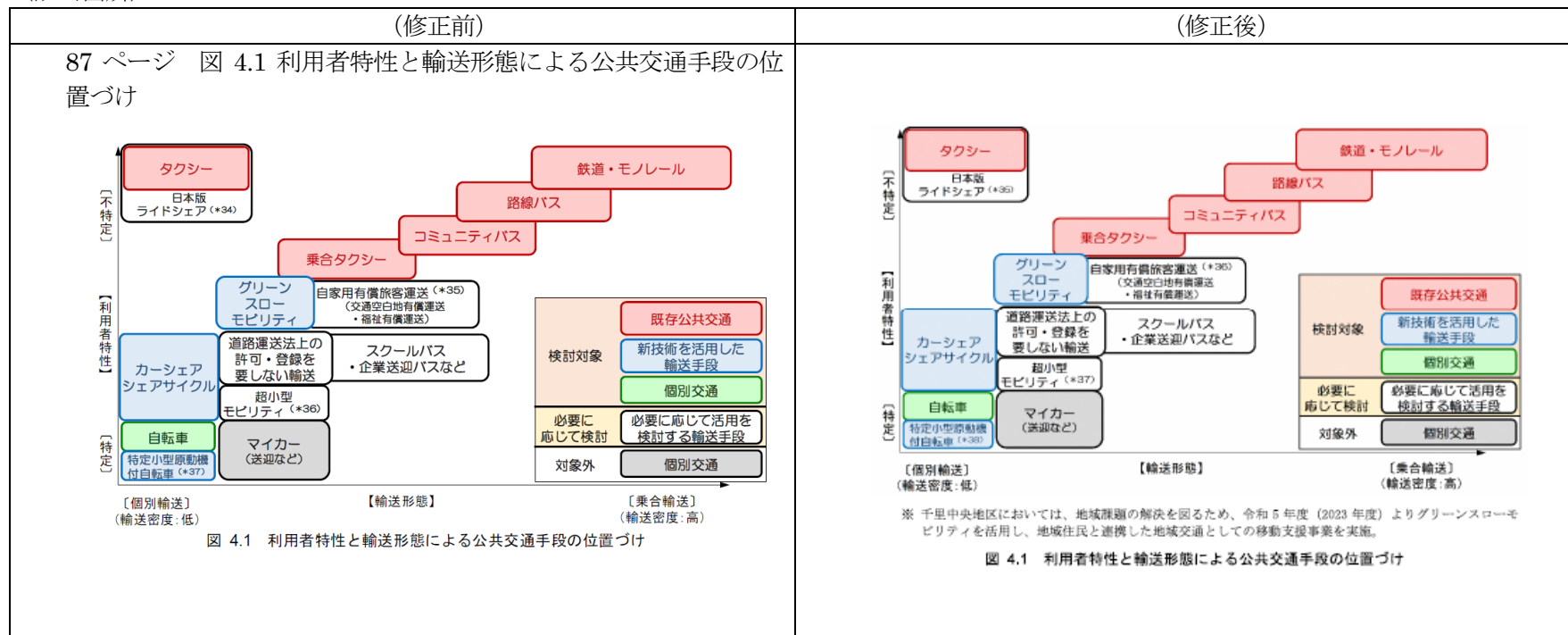
(3) その他意見公募手続を実施した案と定めた計画との変更点

1. 第4章の目指すべき公共交通体系について

(概要)

千里中央地区において実施しているグリーンスローモビリティの取組みについて図 4.1 利用者特性と輸送形態による公共交通手段の位置づけに追記しました。

(該当箇所)

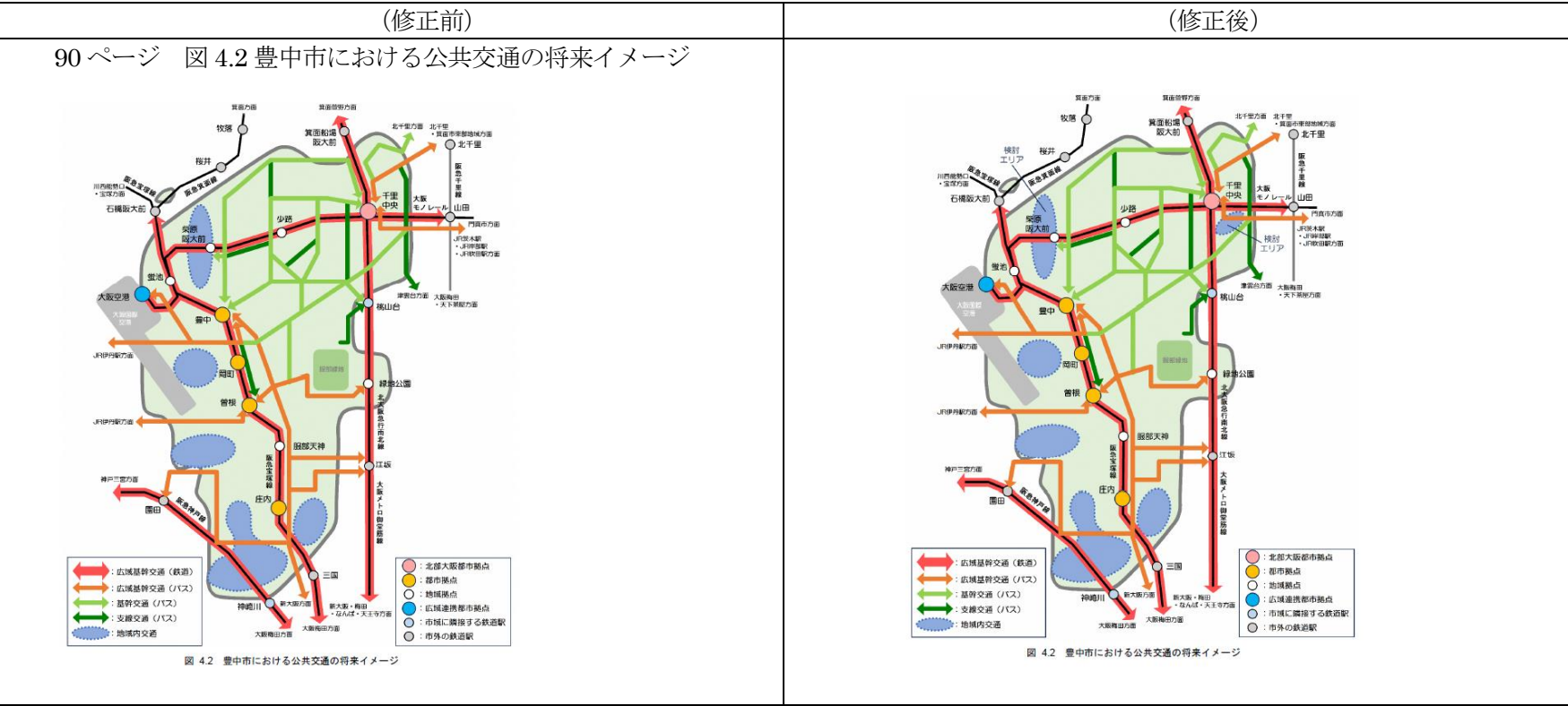


2. 第4章の豊中市における公共交通の将来イメージについて

(概要)

新たな交通支援の検討において、計画期間内に実現可能性の高い交通支援検討地域のエリアを図 4.2 豊中市における公共交通の将来イメージに追加しました。

(該当箇所)



3. 参考資料について
(概要)

公共交通改善計画策定の経緯及び豊中市地域公共交通協議会の委員名簿を追加しました。

(該当箇所)

(修正前)

(該当ページなし)

132 ページ

参考資料

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

参考資料

参考 2 豊中市公共交通改善計画改定版の策定経緯

	開催日	議事内容
第 14 回 豊中市 地域公共交通 協議会	令和 5 年(2023 年) 11 月 2 日(木)	・公共交通改善計画について 計画の現状と中間評価について 計画の見直しの方針について
第 15 回 豊中市 地域公共交通 協議会	令和 6 年(2024 年) 1 月 19 日(金)	・公共交通改善計画について 豊中市公共交通改善計画に基づく事業の現状について 豊中市公共交通改善計画における評価指標の見直しについて
第 16 回 豊中市 地域公共交通 協議会	令和 6 年(2024 年) 7 月 29 日(月)	・豊中市公共交通改善計画の中間見直しについて 豊中市公共交通改善計画(素案)諮問
第 17 回 豊中市 地域公共交通 協議会	令和 6 年(2024 年) 10 月 31 日(木)	・豊中市公共交通改善計画の中間見直しについて 豊中市公共交通改善計画(素案)(案)への意見について 豊中市公共交通改善計画(パブリックコメント素案)答申
—	令和 6 年(2024 年) 11 月 20 日(水) ～12 月 10 日(火)	・豊中市公共交通改善計画意見公募
第 18 回 豊中市 地域公共交通 協議会	令和 7 年(2025 年) 2 月 27 日(木)	・豊中市公共交通改善計画の中間見直しについて 意見公募で寄せられた意見の概要と市の考え方 豊中市公共交通改善計画策定

132

(該当ページなし)

133 ページ

参考資料

参考 3 豊中市地域公共交通協議会委員名簿

区分	所属	委員氏名
学識経験者	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授	猪井 博登
	東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科 教授	石塚 裕子 (第 14～15 回)
	大阪大学大学院 工学研究科 環境エネルギー工学専攻 教授	紀伊 雅敏 (第 16～18 回)
	阪急バス株式会社 自動車事業部 部長	野瀬 俊昭
	伊丹市交通局 次長	浜名 順也
交通事業者	大阪タクシー協会の定める代表者	花田 崇昭
	阪急タクシー株式会社 営業部 営業企画室 室長	
	阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 沿線まちづくり推進部 部長	阿瀬 弘治
	北大阪急行電鉄株式会社 鉄道事業部 部長	安田 崇博
	大阪モーター株式会社 運輸部 次長	中川 義徳
	阪急バス労働組合 副執行委員長	石橋 安司
	大阪タクシー協会の定める代表者の労働組合 阪急タクシー労働組合	大南 昌彦 書記長 (第 14～16 回) 今村 武史 副執行委員長 (第 17～18 回)
	市民 公募市民	寄井 健司 萩原 啓子 (第 14～15 回)
		小西 大助 白地 文代 (第 16～18 回)
		赤田 雅之 (第 14～15 回)
関係行政機関	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 幹務企画部門 首席運輸企画専門官	沢田 久夫 (第 16～18 回)
	近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	中村 洋一
	大阪府 都市整備部 交通戦略室 交通計画課 課長補佐	青野 邦男 (第 14～15 回) 井本 昌彦 (第 16～18 回)
	池田土木事務所 地域支援・企画課	香取 邦亮 課長 (第 14～15 回) 遠藤 洋一 参事 (第 16～18 回)
	豊中警察署 交通課 課長	中田 健志
	警察 豊中南警察署 交通課 課長	中川 剛 (第 14～15 回) 米丸 広彦 (第 16～18 回)
	市 豊中市 都市基盤部 部長	上北 隆之 (第 14～15 回) 野田 玄志 (第 16～18 回)

133